

都中P通信

No.46 発行

平成 28 年 2 月

東京都公立中学校 PTA 協議会

会長 岩田 暁

第二回 全都中学校地区 PTA 連合会 会長会

開催日：平成 27 年 12 月 6 日（日） 場所：北野市民センター（八王子市）



会長挨拶

本年 2 回目となる全都地区 P 連会長会は、同日に開催された“東京都中学校 PTA リーダー研修会”の終了後に八王子市教育委員の村松様にもご参加いただき、また未加盟地区から練馬区の宮間 P 連会長と日野市第三中の畠山前広報委員長を含めた 12 地区 26 名が出席して行われました。

都中 P 岩田会長の挨拶と各地区からの簡単な紹介があり、八王子市中 P 後藤会長より「携帯・スマホに関するアンケート調査」の発表後、11 月末に発表された「SNS 東京ルール」と同日開催のリーダー研修会「ネット・スマホ依存の現状と対応」の 2 点についての感想と意見や各区市の取り組みを 6～7 名の 4 グループに分かれて話し合いました。

※各グループが話し合った内容をいくつか抜粋



東京都の中学生のために

◇リーダー研修会の内容について

- ・依存についてよく分かった。様々なタイプがあり、実態が分かりづらいため親が気付く時にはひどく悪化しているケースが多いことは怖いことだ。早めの気付きと働きかけのためには普段から子どもと向き合うことが必要なことを知った。
- ・区 P 連でも取り組んでいる。ネット依存の話に関心があり今回参加した（練馬区）。
- ・大人は仕事があるから依存にはなりにくいが、時間のある子どもには時間の制限は必要。
- ・塾や学校の部活に地域のスポーツチームでもラインでの指示や連絡があり、スマホは必要で、簡単に禁止できない。
- ・我が家では子供のものは、すべて親のものとしてレンタルと認識させているのでルールを破ったらペナルティを与えている。

◇各区市のこれまでの取り組みや今後について

- ・連合では行っていないが、単 P でネットの研修会、子供への出前授業を行っている（文京区・足立区・世田谷区）
- ・「インターネットのルールとマナー」が配布されているが学校での対応は各区市でどのようにしているか？（都中 P）
- ・使い方とは別に、ネット上でのモラルを道徳などで学ぶことが重要である。
- ・この問題に取り組むと、保護者への「教育」と「意識向上」が肝要であるとの結論に至る（多数）
- ・今後の研修として、保護者が使い方とルールを学ぶことが必要であり親子数組の少人数で行うディスカッションを提案したい。

◇SNS 東京ルールについて

- ・東京ルールについてはまだ聞いたばかりでよく分かっていないので、今後の検討項目としたい。
- ・親子の意識、親同士の意識、子供同士の意識の違いがあるから問題解決は難しいが、みんな違うのが当たり前との認識のうえで、相互理解と問題解決をするために幾度も話し合うことが必要である。そのためのツールにしたい。
- ・家庭でのルール作りについて、保護者会で呼びかけたがいろいろな状況の家庭があり共通ルールはできなかった。しかしそのことによって保護者が全員の顔がわかるつながり方をして、何かあったら一緒に考える体制づくりができた。
- ・スマホ社会とは何なのか、SNS とは何なのか、子供に言う前にまず親も勉強しよう。



ネット・スマホだけでなく子供たちを取り巻く様々な問題に対して、加盟未加盟に関らず、各地区すべてのPTAが大切な活動をされていますが、今を生きる子供たちにとっては、より迅速な対応と解決が不可欠です。今この瞬間もどこかの地区が解決の突破口を開く活動をしているかもしれないですし、また逆に新しい問題に悩んでいる地区があるかもしれません。これからも私たち都中Pは、東京のすべての中学生の環境をより良くするために、各地区との連携の機会を武器にあらゆる問題に挑戦していきます。

**会長会に先立って同日行われた、
東京都中学校PTAリーダー研修会“ネット依存の現状と対応”の内容について。**

東京都中学校PTAリーダー研修会では、久里浜医療センター院長樋口進先生を講師に迎え、「ネット・スマホ依存の現状と対応」と題して講演会を行いました。講演内容は、「ネット依存の現状とその症状について」、「依存によって発生する身体的、精神的問題」、「学業、仕事、家族等の対人関係の問題」があること、「ひきこもりの問題」などが話題にのぼりました。そして、治療の基本は自ら行動を変えるよう援助することであること、外来治療や家族会の活動についての紹介がありました。また、ネット依存からの回復は様々であることが分かりました。対策としては、ネット依存にさせないための予防策として、地域、学校、家庭での取り組みについて紹介があり、またネット依存になってしまった時に、学校や家庭ができる対応策は何かを考えさせられる講演でした。

平成27年度PTA年次表彰式

文部科学省・公益社団法人日本PTA全国協議会では、PTA活動の資質向上と活性化のために、全国のPTA活動で顕著な業績をあげたPTAその他の団体および個人の方の表彰を毎年行っています。ホテルニューオータニにて、平成27年度PTA年次表彰式を行いました。全国から多くのPTA役員が集まり、広い会場を埋め尽くしました。そして寺本 充会長式辞、馳 浩文部科学大臣祝辞のあとに、以下の表彰を行いました。



日P会長挨拶

- ・優秀PTA文部科学大臣表彰 137団体 ・全国大会感謝状 4名
- ・日P 会長表彰(団体) 121団体 ・日P 会長表彰(個人) 232名

それぞれの表彰では地区ごとに代表者1名を決め、その代表者が登壇し表彰状を受取ります。代表者以外の表彰状は、式典終了後に渡されました。その後、隣の会場に場所を移して祝賀会が催され、多くの表彰者が参加し、懇談しました。

- ☆優良PTA文部科学大臣表彰 町田市立町田第二中学校PTA
- ☆日P会長表彰(団体) 八丈島小中高PTA連合会
- ☆日P会長表彰(個人) 中村和也・鈴木宗太郎



八丈島小中高PTA連合会 沖山会長も出席(左)
町田二中 富田校長(後ろ中央)・中光副会長(左二番目)
町田二中 鈴木前PTA会長(都中P推薦理事)(右)
都中P中村副会長(八王子七中、八王子中P連)(右二番目)
前中央で都中Pの旗を持つ加納事務局長(町田出身)



今後も繋がっていく日本PTAの輪 チーム都中Pの結束力



全国小・中学校PTA広報紙コンクールでは
八王子市立第六中学校の広報紙 佳作で入賞(左)
八王子市中P連後藤会長も出席(ご自身の学校)

【都中P推奨】全国学生保険保障援助会の学生総合保険

お子様のケガやご家族の賠償事故を24時間保障する制度です。「疾病補償プラン」と「ケガ充実補償プラン」を用意しています。扶養者が事故により亡くなられた際には育英費用のお支払いもあり、在学中に必要な補償を総合的にカバーする設計となっています。昨今話題の自転車に乗っている際に、歩行者の第三者をケガさせた場合の補償も本保険にセットされています。



特典 学校生活安心ダイヤル他